

第7回ESS OB会総会開催

2000年9月23日雨模様の中、第7回ESS・OB会総会が開催された。今回は芦原会長体制になって最初の総会であったが、芦原会長が、英国に一年間の長期出張の為、会長不在の総会となった。当日は青山学院大学同窓祭が、開催され、各種講演や、イベントが催されていた。

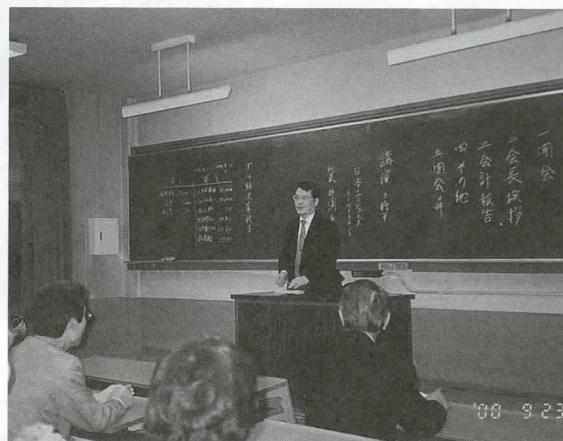
ESSのOB会総会にあわせて、井浦幸雄氏《S. 40年卒、日銀、IMF、BIS(国際決済協会)を経て2000年六月、個人投資家を中核株主として、日本エンジェルス・インベストメント株式会社を東京の北青山に設立》の特別講演をして頂いた。

総会は藤田宏一事務長《S41年卒》の司会で芦原貞雄会長のメッセージを人見泰二副会長が代読された。

会計報告は小沢剛会計局長より、報告されたが、次期繰越金も¥257,195しかないという大変寂しい台所事情が判明した。入会金のみで、会費の徴収が無いOB会故仕方が無いとは言え、これでは、現役に対するろくな援助活動も出来ない。今後のOB会のあり方を含め、財政事情を如何に改善していくかも新執行部の課題の一つでしょう。

2000年6月に会社設立し、7月、8月の2ヶ月の間に、四回も日本経済新聞が取り上げたと言う今話題の日本エンジェルス・インベストメント株式会社とその創立者で我がESS・OB井浦幸雄さんの特別講演会、講演要旨を別記の通り紹介します。

総会の後は会場を青山学院大学より徒歩数分の所に有るニッカ本社ビル地階“うすけぼー”に移して、各年度別、懇親会となった。総会出席者約50名に対して、懇親会は倍以上の125名の参加者で予想以上の盛り上がりを見せた。



井浦 幸雄氏 (日本エンジェルス・インベストメント株式会社代表取締役社長) 講演抜粋

私は現在59歳ですが、三つの健康に恵まれています。精神の健康、体の健康に加え、BISに長い間勤めさせていただきましたので、財布の方もまずまず健康を保っています。

では、なぜ私がハイテク、IT関係のベンチャー企業に関心を持ったかについて説明します。IMFに勤めていた15年前私はパソコン通信のBBS(Bulletin Board System)のお世話をすることを教わり約1,000人のアメリカ人のお客様に日本文化の紹介のような草の根BBSをつくり、大変好評を博しました。ワシントンの日本大使館からお褒めの言葉もいただきました。それで病み付きになり、以来コンピュータ関係のことを仕事のかたわら趣味でや

ってきました。

1989年にBISに行くことになりましたが、その頃前後してインターネットがかなり普及してきました。最初は英語環境のパソコンしかありませんでしたが、1984、85年頃から日本語でコンピュータ通信(電子メール)ができるようになりました。スイスのパーゼルのような片田舎で無聊(ぶりよう)を、啣(かこ)っていた私が、日本語でいろいろなことができることを知り、大変楽しくなりました。手始めに「ライン随想録」約120篇を書き、ホームページに掲載した。それを皆様に見ていただいたところ、大変面白いとお褒めの言葉をいただきました。それに力を得て、私は「スイス・日本サイバーグループ」をつくりました。これで何をしようとしたかという、日本のビジネスマンや研究者が仕事や学校の関係でスイスに来られた時に戸惑っておられるので、これを解決するお手伝いをし

記事や口コミを通じ徐々に増えました。

AESS・MLには、時に、大学の経営情報、野球やラグビーの戦績、青春追想記、旅日記、著作物の発表、世相批評などが流れます。それぞれがレベルが高く力のこもった内容です。パソコン画面を通すだけでなく、生身で集まるオフ会も、八重洲、四

ッ谷、銀座、新宿などと河岸を変え、メンバー以外の参加者も誘い、通算6回ほど行いました。何れ、関東以遠での開催も夢ではなくなるでしょう。

英国から帰国、4月より教授に復帰されたAESS新会長の芦原先生が、OB会のホームページを開設し、若い世代の人たちにも関心をもって

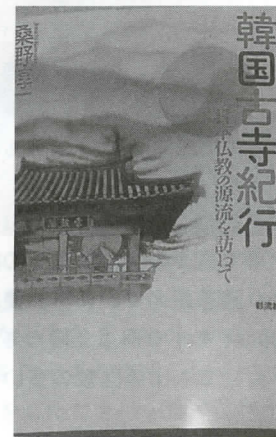
もらい、OB会に参加してもらおうという抱負を語っておられました。AESS・MLとの連携で、新しい展望が開けるものと期待されます。ホームページの新設を待って、現在の暫定版はクローズします。(編集委員会記)

OBが書いた本の紹介

S. 50年卒の桑野淳一さんは「韓国古寺紀行」(彩流社)をこの度出版しました。“日本と同じ大乘仏教の流れにありながら、儒教国家の中で、山に追いやられた仏教、その歴史的な経緯と日本の繋がりを考えながら、韓国の古寺を旅するというもの。”

定価は¥1900+税ですが、ご本人は消費税はサービス、送料は何冊でも¥300ポッキリといっています。

申し込み先：ご本人TEL：0592-25-6414



滝本つみきさん(40年卒)が、「アメリカからきた魔女」の6巻目を発表されました。おちこぼれ魔女のストーリーとキャンディーのうちのキャンディーの「誕生の秘密」です。過去の巻では、アメリカに進出して地上げに奔走する日本企業を撃退したり、怪し気な特効薬を開発したり、北海道ではゴミ捨て場の建設計画を葬ったり、活躍の舞台は世相を写してなかなか現実味があり、各シリーズとも、童話の世界とは思えないやや重たいテーマでした。

「つぎは少子高齢化ですか？」などと真面目に聞いたりしたのですが、新刊「誕生の秘密」では、40年近くも生きてきた老魔女のキャンディーが、若くして、イギリスの王家の争いに家族ぐるみで巻き込まれ、魔女になるしかなかった悲しい体験を、相棒のストーリーにはじめて明かします。抗争と陰謀に明け暮れた時代を背景に、スリルとサスペンス、悲惨、、、筆の運びはシリーズを重ねるごとにますます好調です。現在、当のキャンディーは、東京は本郷の古い下宿に居を定めている由。いったい、この作者の頭の構造はどうなってるんだ!

「アメリカからきた魔女 誕生の秘密」 童心社、フォア文庫、560円



会報の編集委員としても活躍中の相沢紘子さん(43年卒)の新刊、「野良猫ムーチョ 心に吹く風」が5月にテレビ朝日出版社から出版されました。野良猫ムーチョが贈る絵と詞とエッセイと英語の世界がある不思議な本です。愛とは、生きるとは、自分とは? 野良猫ムーチョに問いかけにあなたはどうか応えますか?

なお詞の翻訳は、弟子丸典子さんも42年卒のESSOBです。

「野良猫ムーチョ 心に吹く風」 テレビ朝日出版社

